

SONY®

3-858-337-03(1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

Operating Instructions

XXXXXXXXXX

WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.
XX

WM-GX822

©1996 by Sony Corporation

お買い上げいただきありがとうございます



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ボタン型電池について

- ・ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、ウォークマンおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

ご注意

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・ラジオカセットコ-ダ-の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
時計を合わせる	8
テープを聞く	10
ラジオを聞く	12
録音する	14

応用

▶テープを聞く	海外でラジオを聞く	29
いろいろな聞きかたをする	ラジオを聞くときのご注意	31
リピート再生をする	▶録音する	
▶ラジオを聞く	タイマー録音をする	32
自分で周波数を合わせる	モードを選んで録音する	33
放送局を自分で設定する	録音するときのご注意	34

その他の機能を使う

誤操作を防ぐ	36	好みの音に調節して聞く	37
暗いところで動作を確認する	36		

電源

乾電池・充電式電池の	ボタン型電池を取り替えるには..	38	
取り替え時期は	38	コンセントにつないで使う	39

その他

お手入れ	40	保証書とアフタ - サ - ビス	44
使用上のご注意	41	主な仕様	45
故障かな?	43	各部のなまえ	46

English	48
---------------	----

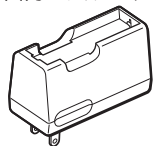
XXXX	58
------------	----

主な特長

- ・ 付属のステレオマイクまたはラジオからの、オートリバーブ録音機能。
- ・ ラジオの留守録音ができる、タイマー録音機能。
- ・ 語学学習に威力を発揮するICリピート、A-B 区間リピート機能。
- ・ +30%–20%まで、6段階の再生スピードが選べる、スピードコントロール機能。
- ・ 14倍速の高速サーチで、前後3曲の頭出しが簡単にできるAMS。
- ・ FM/AMステレオおよびTVの音も聞ける、ワールドワイドチューナー。
- ・ ワンタッチで自分の地域の放送局が呼び出せる、オートステーションプリセット(ASP)。
- ・ 本体の液晶表示で機能の切り換えができる、LCDメニュー方式。
- ・ 充電式電池と乾電池の併用で、21時間の長時間再生。
- ・ 迫力ある重低音を再生する、MEGA BASS^{メガベース}。
- ・ 暗やみでも動作確認ができる、ELバックライト付き液晶リモコン。
- ・ コンサートやライブハウスなどの録音に便利なLIVE録音モード^{ライブ}。
- ・ 録音を一時停止する、REC/PAUSE^{レコーディングポーズ}。

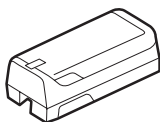
付属品を確かめる

充電器
国内モデルのみ

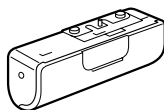


または

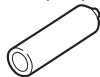
ワールドモデルのみ



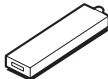
乾電池ケース



ソニー乾電池
R6P (SR)



充電式ニカド電池
NC-6WM



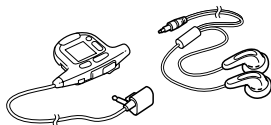
ボタン型電池
CR2016



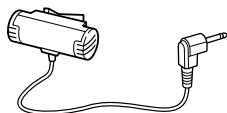
イヤークラスアダプター (2個)
ヘッドホンが耳に合わない
ときに取りつけます。



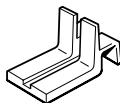
リモコンつきヘッドホン (リモコン)



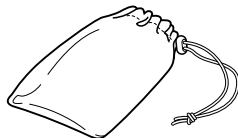
ステレオマイク



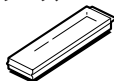
マイクスタンド



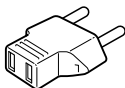
キャリングポーチ



バッテリー
キャリング
ケース



ACプラグアダプター
(ワールドモデルのみ)



取扱説明書
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

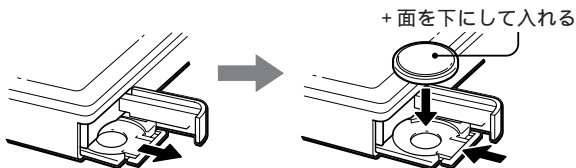
準備する

ここではボタン型電池、充電式電池の入れかた、および乾電池での使いかたを説明します。

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」(39ページ)をご覧ください。

1 ボタン型電池(CR2016)を入れる

時計のメモリーを保持するために必要です。必ず入れてください。



2 充電式電池を充電する

充電式電池は約300回充電できます。

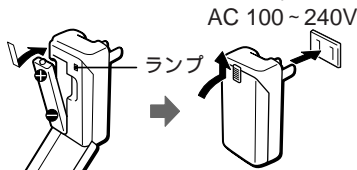
国内モデル用



約2時間で充電完了です。

ワールドモデル用

まず充電器のふたをあけてください。

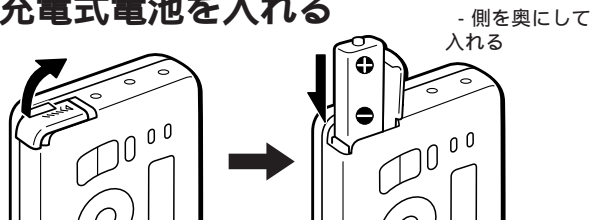


充電器のプラグがコンセントと合わないときは、ACプラグアダプター(ワールドモデルのみ付属)をお使いください。

充電時間は約1時間です。充電中はランプが点灯し、充電が完了するとランプは消えます。50%の充電(約30分)でも使えます。

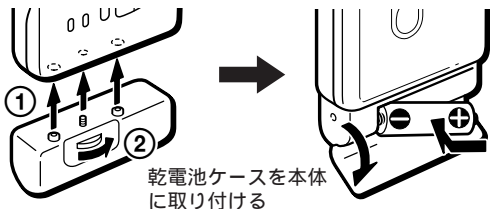
3

充電式電池を入れる



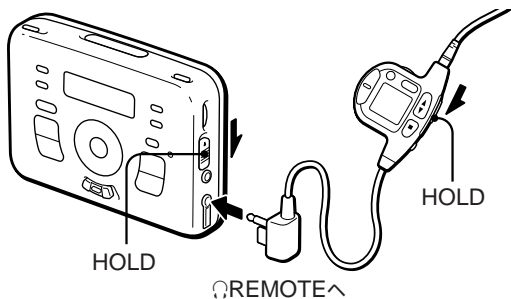
乾電池で使うときは

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



4

リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

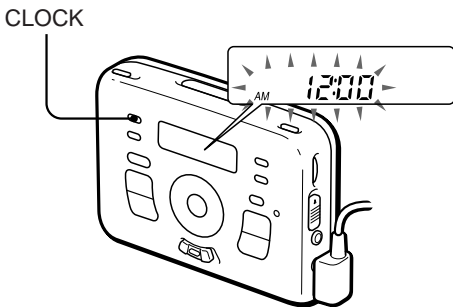


時計を合わせる

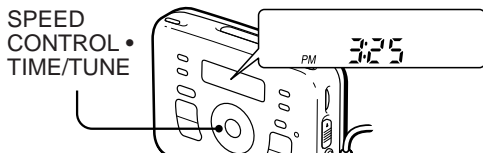
時計のメモリーを保持するには、ボタン型電池が必要です(「準備する」(6ページ)参照)。

1 本体で時計を合わせる

- 1 時計表示が点滅するまでCLOCKボタンを押す



- 2 SPEED CONTROL・TIME/TUNEつまみを回して時刻を合わせる
回し続けると速く変わります。



- 3 時報と同時にCLOCKボタンを押す
「:」が点滅を始め、時刻の設定が完了します。



テープやラジオを聞いているときも時計合わせができます。

本機の時計は12時間表示です。

真夜中：「AM12:00」

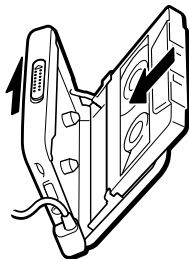
正午：「PM12:00」

テープを聞く

ノーマル、クロム、メタルのテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセクター機能)。

1 カセットを入れる

① OPENつまみをずらしてふたを開ける



② テープ側を手前にして入れる

カセットぶたが開かないときは、「故障かな？」(43ページ)をご覧ください。

2 再生する

② VOLUMEまたはVOLで音量を調節する



① ◀▶ • REPEATを押す

本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。

リモコンで音量調節するときは、本体のVOLUMEつまみを6程度にします。

その他のテープ操作

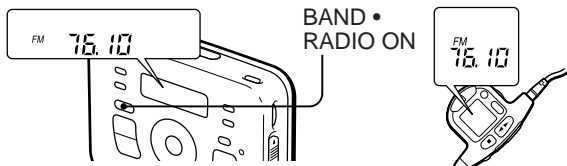
操作	押すボタン	動作の確認音
再生面の切り換え	再生中に◀▶・REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	■	ピ
早送り	停止中にFF・AMS	ピ
巻き戻し	停止中にREW・AMS	ピ
聞いている曲を 繰り返し再生 (1曲リピート)	再生中に◀▶・REPEAT を2秒以上 (解除するにはもう一度 押す)	ボタンを押したときと巻き 戻し中にピピーピ (巻き戻し中は繰り返す) 「REP」表示が点灯し、巻き 戻し中は点滅
早送りして反対面を 再生 (スキップリバース)	停止中にFF・AMSを 2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、.....
巻き戻して最初から 再生(オートプレイ)	停止中にREW・AMSを 2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、.....

上記以外のテープ操作は、「いろいろな聞きかたをする」(16ページ)をご覧ください。

ラジオを聞く

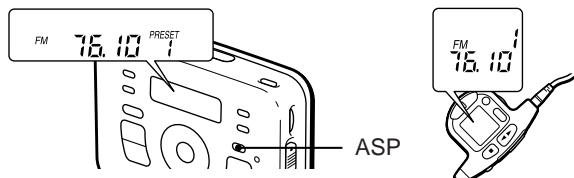
今いるところで聞ける放送局を自動的に呼び出します。まず初めに受信状態のよいところで操作してみましょう。

1 ラジオをつける

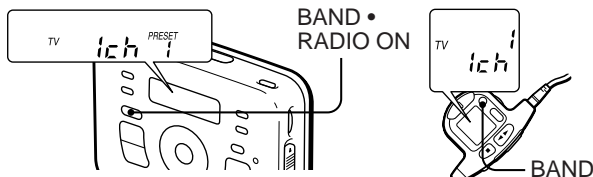


2 聞ける局を呼び出す

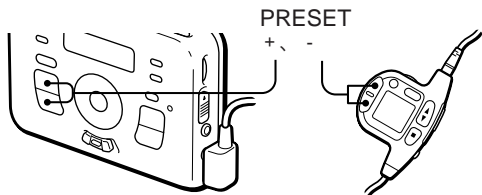
"AREA"の点滅表示が出るまで、ASPボタンを押します。呼び出しが完了すると、本体の表示窓にはFMの受信できた周波数と「PRESET 1」が表示され、リモコンにはFMの周波数と「1」が表示されます。



3 AM、FM、TVを選ぶ



4 放送局を選ぶ



ラジオを消すには

- ・ RADIO OFFを押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局は記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1～4をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM、TV放送

ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

ラジオ受信中に電源を抜かないでください
呼び出した放送局が記憶されないことがあります。

うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる」(22ページ)
「放送局を自分で設定する」(23ページ)参照)

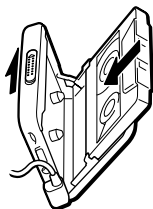
録音する

オートリバース録音ができます。

録音には、TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

ツメが折れている面には録音できません。(「大切な録音を守るには」(35ページ)参照)

1 カセットを入れる

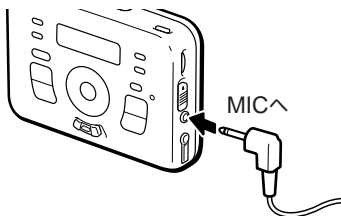


カセットの入れかた		走行方向表示
両面を続けて録音するとき	録音を始めた面がふた側になるようにカセットを入れる。	FWD
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	REV

カセットホルダーを開けると、テープの走行方向は自動的にFWDに設定されます。片面だけに録音するとき、表示がFWDからREVになるまで ボタンを押し続けます。

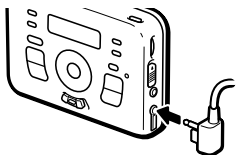
2 音源を選ぶ

マイク録音の場合
マイクをつなぐ



ラジオ録音の場合

①リモコンをつなぐ
コードがFM、TVのアンテナ
になっています。



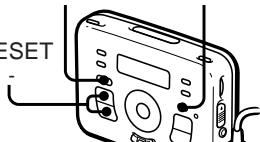
②受信する(「ラジオを聞く」
(12ページ)参照)

BAND・RADIO ON ASP

PRESET

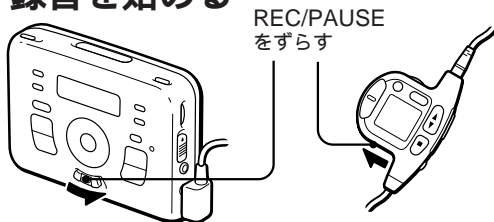
+

-



3

録音を始める



マイク録音中：表示窓にRECが表示されます。

ラジオ録音中：表示窓にRECと周波数が表示されます。

録音を一時停止するには

録音中にREC/PAUSEスイッチをずらすと、録音は一時停止します。

一時停止中：表示窓のREC表示が点滅します。

録音を再開するときは、もう一度REC/PAUSEスイッチをずらしします。

一時停止のまま5分が経過すると、ピーブ音が鳴って、テープは止まります。

録音を止めるには

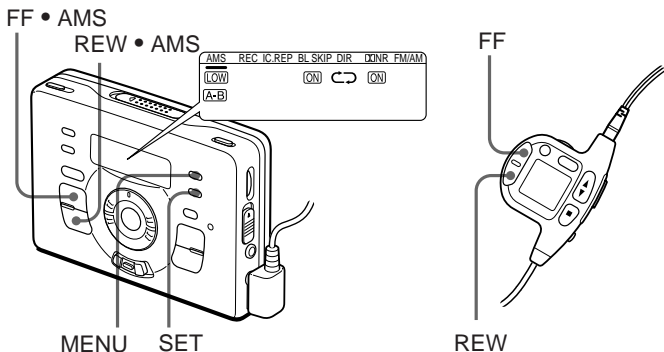
■ボタンを押します。

AMを録音中に雑音聞こえたら

本体上面のISSスイッチを雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

▶テープを聞く

いろいろな聞きかたをする



□好きな曲を頭出しする(オートミュージックセンサー)

再生中にFF・AMSまたはREW・AMSを、とばしたい曲の数だけ押しします。最大3曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音
早送りして何曲か先の曲を再生	再生中にFF・AMSをとばしたい曲数押す	ピ あと3曲：ピッピーピーピー、 あと2曲：ピッピーピー、 あと1曲：ピッピー、...
巻き戻して何曲か前の曲を再生	再生中にREW・AMSをとばしたい曲数押す	ピ あと2曲：ピピッピーピーピー、 あと1曲：ピピッピーピー、 この曲：ピピッピー、...

AMSが正しく動作しないことがあります

AMS(オートミュージックセンサー)では曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができません。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。

□ 長いあきをとばす(ブランクスキップ)

再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします。MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをBL SKIPの位置に合わせます。SETボタンを押して表示を切り換えます。

操作	BL SKIPの画面表示	動作の確認音とリモコン表示
長いあきをとばす (ブランクスキップ)	ON	あきをとばすときに、ピピピ、 ピピピ、... 「SKIP」表示が点滅
ブランクスキップを 解除する	—	

ブランクスキップが正しく動作しないことがあります

ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中で早送りすることがあります。その場合には、ブランクスキップを解除してください。



□ あき(無音部分)の部分を見つけやすくする

ラジオの録音や会議の録音など、AMSやブランクスキップが働きにくい録音テープの場合は、MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをAMSの位置に合わせ、SETボタンを押して「LOW」を表示させます。AMSとブランクスキップの感度が切り換わり、あき部分を見つけやすくなります。

もとに戻すときはSETボタンを押して「LOW」表示を消します。

□ テープ走行のしかたを選ぶ

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをDIRの位置に合わせます。SETボタンを押して表示を切り換えます。

操作	DIRの画面表示	動作の確認音
両面をくり返し再生		ピ
両面を1回再生*		ピピ

* 本体側の面から始めたときは、本体側の面のみを再生します。

停止中にカセットぶたを開けると、走行する面はふた側の面に変わります。

□ ドルビー*B NRで録音したテープを聞く

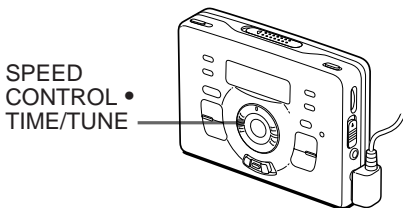
MENUボタンを繰り返し押し、表示窓のカーソルを□NRの位置に合わせます。SETボタンを押して「ON」を表示させます。録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合には「ON」を消します。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号□はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

□ テープの再生速度を調節する

+30%から-20%まで6段階の再生速度が選べます。



再生速度	SPEED CONTROL • TIME/TUNE つまみの操作	動作の確認音と 画面表示
+10%	FAST/+側に回す	ピ、FAST 1
+20%	(回し続けると連続的に変化します。)	ピ、FAST 2
+30%		ピ、FAST 3
-10%	SLOW/-側に回す	ピ、SLOW 1
-20%	(回し続けると連続的に変化します。)	ピ、SLOW 2
標準	FAST/+またはSLOW/-	ピ、PLAY

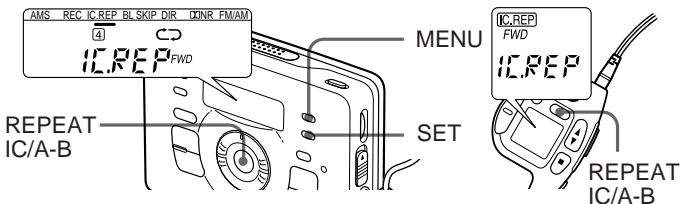
ご注意

- ・カセットぶたを開ける、または録音操作をすると、自動的に標準速度に戻ります。
- ・設定した再生速度は、標準速度に戻すまで保持されます。
- ・録音速度を変えることはできません。

リピート再生をする

テープの4秒間を繰り返し再生するICリピート、指定したテープの区間を繰り返し再生するA-B区間リピート、1曲リピートの3種類のリピート再生をすることができます。(1曲リピートについては「その他のテープ操作」(11ページ)をご覧ください。)

□ 4秒戻って繰り返し聞く(ICリピート)



停止中に本体またはリモコンのREPEAT IC/A-Bボタンを押して、表示窓に「4」(本体)または「IC. REP」(リモコン)を表示させます。

本体のMENUボタンを使うと、テープ再生中に、A-B区間リピートからICリピートに切り換えることもできます。

MENUボタンの操作

MENUボタンを繰り返し押して、カーソルをIC. REPの位置に合わせます。SETボタンを押して表示を切り換えます。

ICリピートを使うには

テープ再生中に、本体またはリモコンのREPEAT IC/A-B ボタンを押します。4秒前に戻って再生を繰り返します。

ICリピートを止めるには

REPEAT IC/A-B ボタンまたは◀▶・REPEATボタンを押します。テープは通常の再生に戻ります。

ICリピートの再生速度を遅くすることができます

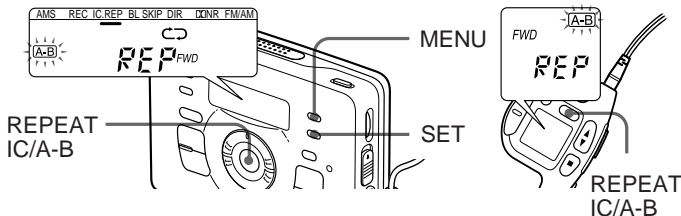
ICリピート再生中にREW・AMSボタンを押すと、「SLOW」が表示され、再生速度が約10%遅くなります。

もとの再生速度に戻すときは、FF・AMSボタンを押します。

ご注意

- ・ICリピート再生を使用しないときは、表示窓の表示を「A-B」にしてください。ICリピートに設定されていると、電池の消耗が早くなります。
- ・ICリピートは約5分間続けると自動的に解除されます。
- ・ICリピートの再生音はモノラルになります。
- ・1曲リピート再生中は、ICリピートはできません。
- ・ラジオのICリピートはできません。

指定した区間を繰り返し聞き（A-B区間リピート）



本体またはリモコンのREPEAT IC/A-Bボタンを押して、表示窓に「A-B」を表示させます。

本体のMENUボタンを使うと、テープ再生中にICリピートからA-B区間リピートに切り換えることもできます。

MENUボタンの操作

MENUボタンを繰り返し押して、カーソルをIC.REPの位置に合わせます。SETボタンを押して表示を切り換えます。

A-B区間リピートを使うには

テープ再生中、再生したい区間の最初(A点)と最後(B点)で、本体またはリモコンのREPEAT IC/A-B ボタンを押します。指定した区間が繰り返し再生されます。

(B点が指定されるまで、「A-B」の表示が点滅しています。)

A-B区間リピートを止めるには

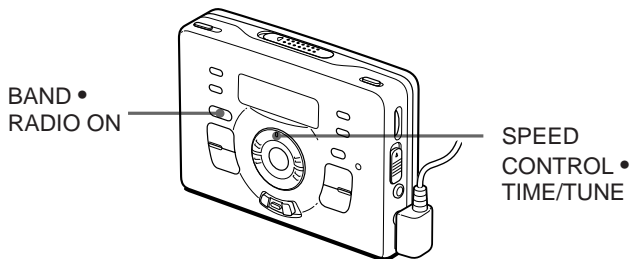
REPEAT IC/A-B ボタンまたは◀▶・REPEATボタンを押します。テープは通常の再生に戻ります。

ご注意

- ・テープのFWD(REV)面からREV(FWD)面にまたがるA-B区間リピートはできません。
- ・1曲リピート再生中は、A-B区間リピートはできません。
- ・ラジオのA-B区間リピートはできません。

▶ ラジオを聞く

自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)



- 1 BAND • RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 BAND • RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAM、FMまたはTVを選ぶ
- 3 SPEED CONTROL • TIME/TUNEつまみを-/SLOWまたはFAST/+側に繰り返し回して表示窓を見ながら周波数を合わせる

SPEED CONTROL • TIME/TUNEつまみを周波数が自動的に変わるまで、長めに回すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(自動選局)。

電波が弱いときは、つまみを繰り返し回して周波数を合わせてください。

放送局を自分で設定する

□ まず設定のしかたを選ぶ

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(エリアコール機能)。

通常は、ASP(オートステーションプリセット)ボタン(12ページ参照)を押すと、今いる場所のエリア番号を自動的に選び、エリア番号が選べない場合は、その場所で受信できるAM、FM、TV局を自動的に探してプリセット番号に記憶していきます(ASP機能)。

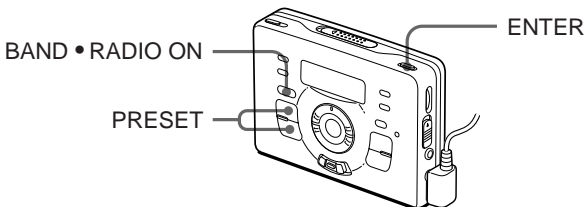
ASP機能を使うと、すでに記憶させていたメモリーは消去されます。

ASP機能で記憶させた以外の放送局を手動で記憶させたり、放送局を変更したりする場合は、下の表にしたがって自分に合った方法を選んでください。

どうしたいか	ここを見てください
ASPで選ぶことができなかった ↓	エリア番号表の放送局を受信したいさせたい → 「自分でエリアを合わせる(マニュアルエリアコール)」(23ページ)参照 今いる場所で受信できる局を自動で記憶させたい → 「自動で受信して記憶させる(オートメモリスキャン)」(24ページ)参照
1つ1つ手動で局を追加、変更、削除したい	→ 「手動で受信して記憶させる(マニュアルメモリー)」(27ページ)参照
自分だけのエリアを作って保存したい	→ 「自分用のエリアに保存する(エリアM)」(28ページ)参照

□ 自分でエリアを合わせる(マニュアルエリアコール)

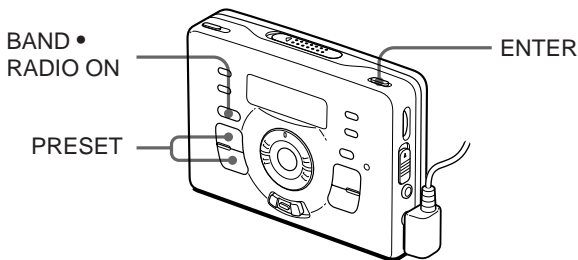
1~8またはJRのエリア番号を選ぶと、25、26ページの表にある放送局が一度に記憶されます。



- 1 BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 3 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND・RADIO ONボタンを押したままにする
- 4 表示の点滅中にPRESET+または-ボタンを繰り返し押して1~8またはJRのエリア番号を選び、ENTERボタンを押す
- 5 BAND・RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選び、PRESET+または-ボタンでプリセット番号を選んで受信する

□ 自動で受信して記憶させる(オートメモリスキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。AM、FMまたはTVを各8局まで記憶できます。受信状態のよい場所で操作してください。



- 1 BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 BAND・RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選ぶ
- 3 「SCAN」表示が出るまでENTERボタンを押したままにする
受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。
- 4 PRESET+または-ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。
エリア番号を切り換えると放送局の記憶は25、26ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

エリア番号：1 札幌		
バンドプリセット	周波数	放送局名
番号(チャンネル)		
AM 1	567kHz	NHK第1放送
2	747kHz	NHK第2放送
3	1287kHz	北海道放送
4	1440kHz	札幌テレビ放送
FM 1	80.4MHz	FM北海道
2	82.5MHz	FMノースウェーブ
3	85.2MHz	NHK FM札幌
4	88.2MHz	NHK FM名寄
TV 1	1 ch	HBC北海道放送
2	3 ch	NHK総合テレビ
3	5 ch	STV札幌テレビ放送
4	12 ch	NHK教育テレビ

エリア番号：2 仙台		
バンドプリセット	周波数	放送局名
番号(チャンネル)		
AM 1	891kHz	NHK第1放送
2	1089kHz	NHK第2放送
3	1260kHz	東北放送
FM 1	77.1MHz	FM仙台
2	82.5MHz	NHK FM仙台
TV 1	1 ch	東北放送
2	3 ch	NHK総合テレビ
3	5 ch	NHK教育テレビ
4	12 ch	仙台放送

エリア番号：3 北関東		
バンドプリセット	周波数	放送局名
番号(チャンネル)		
AM 1	594kHz	NHK第1放送
2	693kHz	NHK第2放送
3	810kHz	FEN
4	954kHz	TBS
5	1134kHz	文化放送
6	1197kHz	茨城放送
7	1242kHz	ニッポン放送
8	1530kHz	栃木放送

エリア番号：3 北関東		
バンドプリセット	周波数	放送局名
番号(チャンネル)		
FM 1	76.4MHz	FM栃木
2	78.8MHz	放送大学
3	80.0MHz	TOKYO FM
4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
5	81.6MHz	NHK FM前橋
6	83.2MHz	NHK FM水戸
7	86.3MHz	FM群馬
TV 1	1 ch	NHK総合テレビ
2	3 ch	NHK教育テレビ
3	4 ch	日本テレビ
4	6 ch	TBSテレビ
5	8 ch	フジテレビ
6	10 ch	テレビ朝日
7	12 ch	テレビ東京

エリア番号：4 南関東		
バンドプリセット	周波数	放送局名
番号(チャンネル)		
AM 1	594kHz	NHK第1放送
2	693kHz	NHK第2放送
3	810kHz	FEN
4	954kHz	TBS
5	1134kHz	文化放送
6	1242kHz	ニッポン放送
7	1422kHz	ラジオ日本
FM 1	76.1MHz	FMインターウェーブ
2	78.0MHz	FMサウンド千葉
3	78.6MHz	FM富士
4	79.5MHz	FM埼玉
5	80.0MHz	TOKYO FM
6	81.3MHz	FMジャパン
7	82.5MHz	NHK FM東京
8	84.7MHz	横浜FM
TV 1	1 ch	NHK総合テレビ
2	3 ch	NHK教育テレビ
3	4 ch	日本テレビ
4	6 ch	TBSテレビ
5	8 ch	フジテレビ
6	10 ch	テレビ朝日
7	12 ch	テレビ東京

エリア番号：5 名古屋			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
		番号 (チャンネル)	
AM	1	729kHz	NHK第1放送
	2	909kHz	NHK第2放送
	3	1053kHz	CBC中部日本放送
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM	1	77.8MHz	FM名古屋
	2	78.9MHz	FM三重
	3	80.7MHz	FM愛知
	4	81.8MHz	NHK FM津
	5	82.5MHz	NHK FM名古屋
	6	83.6MHz	NHK FM岐阜
TV	1	1 ch	東海テレビ
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	CBC中部日本放送
	4	9 ch	NHK教育テレビ
	5	11 ch	名古屋テレビ

エリア番号：6 大阪			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
AM	1	558kHz	ラジオ関西
	2	666kHz	NHK第1放送
	3	828kHz	NHK第2放送
	4	1008kHz	ABC朝日放送
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	毎日放送
	7	1314kHz	ラジオ大阪
	8	1431kHz	和歌山放送
FM	1	76.5MHz	関西インターメディア
	2	80.2MHz	FM802
	3	82.8MHz	NHK FM京都
	4	85.1MHz	FM大阪
	5	86.5MHz	NHK FM神戸
	6	88.1MHz	NHK FM大阪
	7	89.4MHz	FM京都
	8	89.9MHz	FM兵庫
TV	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	毎日テレビ
	3	6 ch	ABC朝日テレビ
	4	8 ch	関西テレビ
	5	10 ch	読売テレビ
	6	12 ch	NHK教育テレビ

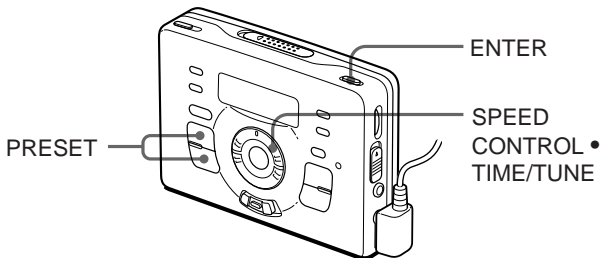
エリア番号：7 広島			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
		番号 (チャンネル)	
AM	1	702kHz	NHK第2放送
	2	918kHz	山口放送
	3	1071kHz	NHK第1放送
	4	1116kHz	南海放送
	5	1350kHz	中国放送
	6	1575kHz	FEN
FM	1	78.2MHz	広島FM
	2	88.3MHz	NHK FM広島
TV	1	3 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	中国放送テレビ
	3	7 ch	NHK教育テレビ
	4	12 ch	広島テレビ

エリア番号：8 福岡			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
AM	1	612kHz	NHK第1放送
	2	1017kHz	NHK第2放送
	3	1278kHz	RKB毎日放送
	4	1413kHz	九州朝日放送
FM	1	77.9MHz	FM佐賀
	2	78.7MHz	FM九州
	3	80.7MHz	FM福岡
	4	81.6MHz	NHK FM佐賀
	5	84.8MHz	NHK FM福岡
TV	1	1 ch	九州朝日放送
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	4 ch	RKB毎日放送
	4	6 ch	NHK教育テレビ
	5	9 ch	テレビ西日本放送

エリア番号：JR JR新幹線*			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
FM	1	76.0MHz	-
	2	76.6MHz	-
	3	77.5MHz	-
	4	78.8MHz	-
	5	79.6MHz	-

*東京 - 博多間の新型車両の列車のみ
(2階建て車両とグリーン車を除く)

□ 手動で受信して記憶させる(マニュアルメモリー)



- 1 記憶させたい周波数を受信する
「自分で周波数を合わせる」(22ページ)をご覧ください。
- 2 ENTERボタンを押して周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 3 表示の点滅中にPRESET+または-ボタンを繰り返し押して記憶させたいプリセット番号を選ぶ
SPEED CONTROL • TIME/TUNEつまみを-/SLOWまたはFAST/+側に繰り返し回して周波数を変えることもできます。
- 4 表示の点滅中にENTERボタンを押す
これで、受信中の放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。
- 5 PRESET+または-ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

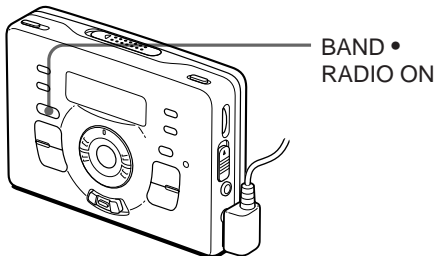
放送局の記憶を消すには

上の手順と同様に操作します。まず、消したい放送局のプリセット番号を選んで受信します。次にENTERボタンを押して周波数表示を点滅させてから、SPEED CONTROL • TIME/TUNEつまみを-/SLOWまたはFAST/+側にずらして「 - - - - 」*を表示させます。ENTERボタンを押すと、選んだ放送局の記憶は消えます。

*「 - - - - 」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。

□ 自分用のエリアに保存する(エリアM)

「自動で受信して記憶させる」、「手で受信して記憶させる」で記憶させた放送局は、ASPボタンを押したり、「自分でエリアを合わせる」でエリア番号を選んだりすると消えてしまいます。記憶させた放送局を消したくないときは、保存用のエリア(エリアM)に保存しておくことができます。



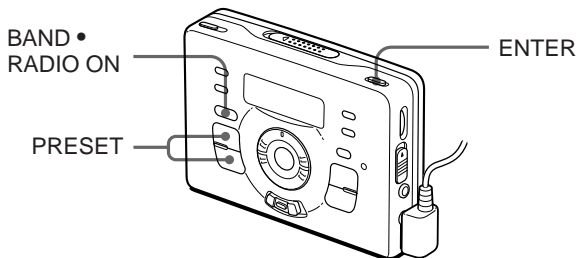
- 1 BAND • RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- 2 「COPY M」表示が出るまでBAND • RADIO ONボタンを押したままにする

現在記憶されているAM、FM、TVの放送局が、エリアMに保存されます。保存された放送局は、次に別の記憶を保存するまでは、消えることはありません。

エリアMを呼び出すには

ラジオがついているときに、ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させます。BAND • RADIO ONボタンを2秒以上押して「AREA 1」表示を点滅させます。表示の点滅中にPRESET+または-ボタンを繰り返し押して「AREA M」を選び、ENTERボタンを押して決定します。

海外でラジオを聞く



- 1 BAND • RADIO ON ボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTER ボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 3 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND • RADIO ON ボタンを押し続ける
- 4 表示の点滅中にPRESET + または - ボタンを繰り返し押して「USA」または「Eur」表示を選び、ENTER ボタンを押す
「87.50MHz PRESET 1」という表示が出て、受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ	USA	FM: 87.5 - 108MHz
中南米諸国		AM: 530 - 1,710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz
		AM: 531 - 1,602kHz

- 5 「1」の表示が「A」に変わるまでASP ボタンを押し続ける
その場所で受信できるAM、FMの放送局を自動的に記憶します。
- 6 BAND • RADIO ON ボタンを繰り返し押してAM または FM を選び、PRESET + または - ボタンでプリセット番号を選んで受信する。

手動で受信するには

「自分で周波数を合わせる」(22ページ)をご覧ください。

手動で記憶させるには

「手動で受信して記憶させる」(27ページ)にしたがって操作してください。

日本の周波数に戻すには

前頁の手順にしたがって操作し、手順3のあとでENTERボタンを押します。それからASPボタンを押してください。

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなることがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき

FMやAMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押し、表示窓のカーソルをFM/AMの位置に合わせます。「MONO」(モノラル)が表示されている場合は、SETボタンを押して「MONO」を消します。雑音が多いときはモノラルにすると聞きやすくなりますが、ステレオではありません。また、TVはステレオにはなりません。

▶録音する

タイマー録音をする

ラジオやテレビの音声をタイマー録音することができます。まず、時計が合っていることを確認してください。(「時計を合わせる」(8ページ)参照)

- 1 録音したい放送局を受信する
- 2 カセットを入れ、録音する面を選ぶ
カセットのツメが折れていないことを確認してください。
- 3 本体の表示窓に「START」が点灯するまでTIMERボタンを押す



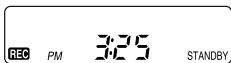
- 4 SPEED CONTROL・TIME/TUNEつまみを回して録音したい時刻に合わせる



- 5 TIMERボタンを押す
本体の表示窓に「STOP」が点灯します。



- 6 SPEED CONTROL・TIME/TUNEつまみを回して録音終了時刻を合わせる
- 7 TIMERボタンを押す
設定が終了し、ラジオが消え、タイマー録音スタンバイ状態になります。



設定した録音時刻は、電源・電池をはずすと解除されますので、改めて設定してください。

スタンバイ状態を解除するには

ボタンを押す、またはカセットぶたを開けます。

TIMERボタンを押すと、ラジオを受信して設定は解除されます。

録音を止めるには

ボタンを押します。

ご注意

- ・ タイマー録音スタンバイ中に電源・電池をはずすと、設定が解除され、タイマー録音ができません。最初から設定しなおしてください。
- ・ タイマー録音スタンバイ中はテープを聞くことはできません。
- ・ 録音開始時刻の1分以上前には、タイマー録音の設定を終了してください。1分以上の時間をとっていないとタイマー録音は行われません。

モードを選んで録音する(マイク録音時のみ)

録音する音の音量にしたがって、モードを切り換えて録音することができます。

「LIVE」: 音楽鑑賞など、大きな音を中心に録音するとき


「LIVE」表示なし: 会議など、遠くの小さな音まで録音するとき

操作

本体のMENUボタンを繰り返し押して表示窓のカーソルをRECの位置に合わせ、SETボタンを押して「LIVE」を表示させます。「LIVE」表示を消すには、SETボタンをもう1度押します。

録音するときのご注意




録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLUMEつまみや  NR、MEGA BASS、AVLSの設定に影響されません。

テープが終わりまでくると

ふた側から録音を始めたときは、自動的に本体側に切り換わり、本体側の面の終わりまで録音して自動的に止まります(両面録音)。また、本体側から録音を始めたときはその面の終わりまで自動的に止まります(片面のみ録音)。

録音について

- ・停止状態またはラジオ受信状態でないと、録音は始まりません。
- ・録音中は  REPEAT ボタンで録音面を切り換えることはできません。
- ・REC/PAUSE スイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- ・電池が消耗してBATTランプが消えると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- ・録音するテープにはTYPE I (ノーマル) テープをお使いください。CrO₂テープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。
- ・録音中の音を聞くときは、録音を始める前にリモコンのMEGA BASSの設定を「表示なし」にしておいてください。「  」 「  」 になっていると雑音が聞こえてくる場合があります。録音中はMEGA BASSの設定を変えることができません。

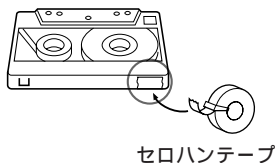
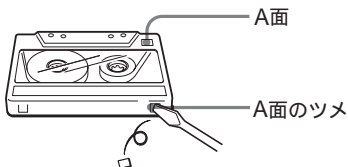
マイク録音について

- ・ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- ・付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- ・録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。

大切な録音を守るには

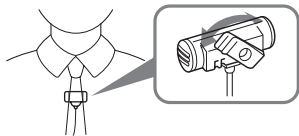
ツメを折って取り除きます。

再び録音するには、穴をふさぎます。



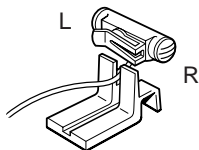
ツメを折った面には、録音することができません。

付属のマイクを使うには

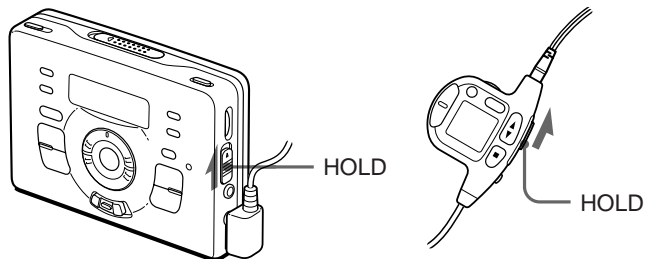


クリップはマイクを付ける場所に合わせて方向が変えられます。

付属のマイクスタンドもご利用ください。



誤操作を防ぐ(ホールド機能)



HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

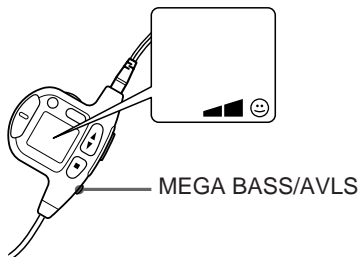
暗いところで動作を確認する

リモコンのLIGHTボタンを押します。

表示窓が5秒間照明され、自動的に消えます。

ホールド機能が働いていても、LIGHTボタンは使うことができます。

好みの音に調節して聞く



メガベース

□ 低音を強調する (MEGA BASS)

リモコンのMEGA BASS/AVLSボタンを繰り返し押します。押すごとに次のように切り換わります。



強弱の激しい曲で低音をより強調すると、音がひずんだように聞こえることがあります。その場合は「▲」または「表示なし」にしてください。

□ 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - 快適音量)



リモコンのMEGA BASS/AVLSボタンを2秒以上押し「☺」を表示させます。

AVLS使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

AVLSを解除するには

上記と同じ操作をし、「☺」表示を消します。

MEGA BASS、AVLSの設定は録音される音には影響しません。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、本体前面のBATTランプが暗くなります。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。

乾電池は持続時間の長いアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間について

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約 16.0時間	約 25.0時間	約 8.5時間	約 7.0時間
充電式ニカド電池 NC-6WM (100%充電にて)	約 6.0時間	約 8.0時間	約 3.5時間	約 3.0時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約 21.0時間	約 32.0時間	約 12.0時間	約 9.5時間
ソニー乾電池 R6P (SR)	約 4.5時間	約 8.0時間	約 2.0時間	約 1.5時間

ボタン型電池を取り替えるには

約1年で電池が消耗します。

- 1 充電式電池、乾電池、ボタン型電池をすべて取り出し、15秒ほどそのままにする
- 2 新しいボタン型電池を入れる(「準備する」(6ページ)参照)
- 3 充電式電池、乾電池を入れる
時刻の設定がAM 12:00に戻ってしまうので、時刻を設定し直してください。(「時計を合わせる」(8ページ)参照)

コンセントにつないで使う

- 1 乾電池ケースを本体に取りつける
充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプターAC-E15L (日本国内用) またはAC-E15HG (海外用) を、乾電池ケース側面のDC IN 1.5V ジャックにつなぐ
- 3 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ

コンセントにつないで使うときはご注意ください。

- ・必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- ・この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG (極性統一形プラグ・EIAJ規格) をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください

他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

充電・充電式電池について

- ・お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- ・充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- ・充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- ・充電式電池を持ち運ぶときは、付属のキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の+と-がショートして危険です。

日本国内での充電式電池の廃棄について



このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- ・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。

その他

- ・次のような場所には置かないでください。
 - －温度が非常に高いところ (60 以上)。
 - －直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - －窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
 - －風呂場など湿気の多いところ。
 - －磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - －ほこりの多いところ。

温度が高いところ (40 以上) や低いところ (0 以下) では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。

- ・長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- ・長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音ののびが悪くなる場合がありますので、なるべくお使いにならないでください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎで、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
カセットぶたが開かない	再生中にOPENつまみをずらした。	テープを止めてからOPENつまみをずらす。
	再生中に電源をはずしたり電池が消耗してしまった。	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する。
ICリピートまたはA-B区間リピートができない	1曲リピート再生をしている。	1曲リピートを解除する。 「その他のテープ操作」 (11ページ)参照
REC/PAUSEスイッチをずらすと警告音が鳴り、録音が始まらない	テープの誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。(35ページ)参照
音量が大きくなりすぎない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。 「好みの音に調節して聞く」 (37ページ)参照
低音が強すぎたりひずんだように聞こえる	MEGA BASSが働いている。	MEGA BASSを解除する。 「好みの音に調節して聞く」 (37ページ)参照
雑音が多く、音質が良くない	ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	別売りのクリーニングテープCHK-1できれいにする。 「お手入れ」(40ページ)参照
操作ボタンが働かない	HOLDが働いている。	HOLDスイッチを矢印と反対方向にずらす。
	充電していない充電式電池が入っている。	充電式電池を充電する。 「準備する」(6ページ)参照
テープ再生中に勝手に早送りしてしまう	ブランクスキップが働いている。	本体表示窓のBL SKIPの「ON」を消す「長いあきをとばす」(17ページ)参照
ASPを押しても聞きたい局が呼び出せない	受信状態が悪いところにいる(電波が弱いところにいる、近くに放送局があるなど)。	・手動で呼び出す「自分で周波数を合わせる」 (22ページ)参照 ・手動で記憶させる「放送局を自分で設定する」 (23ページ)参照
動作や表示がおかしい	----	いったん電源・電池(乾電池、充電式電池、ボタン型電池)をはずして、15秒以上たってから入れ直す。「電源」(38ページ)参照

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店で
お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー
サービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧
ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- ・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- ・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の
海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ*)	再生時(DOLBY NR OFF時): 30~18,000 Hz 録音・再生時: 100~8,000 Hz
入力端子	マイク(ステレオミニ)ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック(専用リモコンジャック)1個 負荷インピーダンス 8~300
実用最大出力(DC時)	4 mW + 4 mW (EIAJ 16)
電源	DC 1.5 V 充電式電池(付属: NC-6WM、1.2 V、600 mAh、 Ni-Cd) 単3形乾電池1個
電池持続時間(EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」(38ページ)をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
最大外形寸法	約108.9 × 78.6 × 26.5 mm (幅/高さ/奥行き) 突起部含む
質量	本体 約170 g ご使用时 約265 g (リモコンつきヘッドホン、充電式電池 NC-6WM、テープ C-60HF含む)

ラジオ部

受信周波数(日本国内)	FM(ステレオ): 76.0~90.0MHz AM(ステレオ): 531~1,710kHz TV(モノラル): 1~12ch
-------------	--

別売りアクセサリ

ACパワーアダプター AC-E15L (日本国内用)、ACパワーアダプター AC-E15HG (海外用) 充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングテープ CHK-1、ステレオイヤークレーン (ヘッドホン) MDR-E747V、MDR-E868MP、カーバッテリーコード DCC-E215

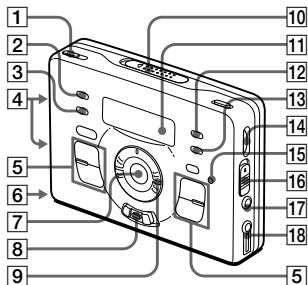
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

各部のなまえ

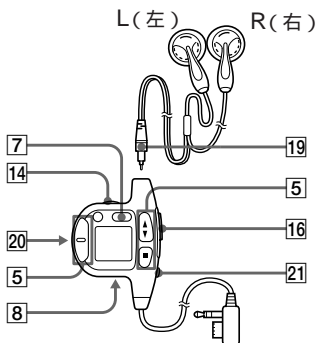
カセットレコーダー部 ・ 共通部

本体



- ① ISS (AM放送録音妨害除去) スイッチ
クロック
- ② CLOCK (時計合わせ) ボタン
タイマー
- ③ TIMER (タイマー録音時刻設定) ボタン
- ④ 乾電池ケース用接点
- ⑤ テープ操作ボタン
- ⑥ 充電式電池入れ
リビート
- ⑦ REPEAT IC/A-B (繰り返し再生) ボタン
レコーディング ポーズ
- ⑧ REC/PAUSE (録音/一時停止) スイッチ
スピード コントロール
- ⑨ SPEED CONTROL (再生速度切り換え)・TIME (時刻) - / SLOW, FAST/+ つまみ
オープン
- ⑩ OPEN (カセットぶた開け) つまみ

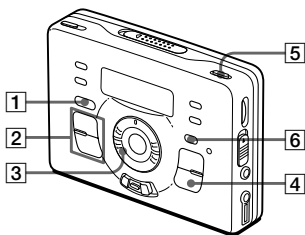
リモコンつきヘッドホン



- ⑪ 液晶表示窓
メニュー
- ⑫ MENU (機能選択) ボタン
セット
- ⑬ SET (機能切り換え) ボタン
ボリューム
- ⑭ 本体: VOLUME (音量調節) つまみ
ボリューム
リモコン: VOL (音量調節) つまみ
- ⑮ BATT (電池残量表示) ランプ
バッテリー
ホールド
- ⑯ HOLD (誤操作防止) スイッチ
マイク
- ⑰ MICジャック
- ⑱ REMOTE (ヘッドホン、リモコン) ジャック
リモート
- ⑲ マイクロプラグ
ライト
- ⑳ LIGHT (照明) ボタン
メガ ベース
- ㉑ MEGA BASS (低音増強) / AVLS (快適音量) ボタン

ラジオ部

本体



- ① 本体: BAND (FM, AM, TV
ラジオ オン
選択)・RADIO ON (ラ
ジオ電源入) ボタン

リモコン: BAND (FM、AM、
TV選択・ラジオ電源入)
ボタン

- ② PRESET +、- (放送局番号選
プリセット
択) ボタン

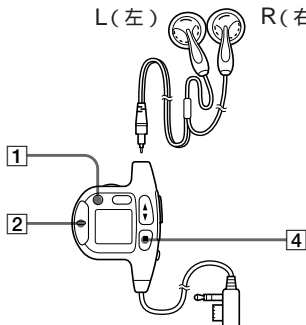
- ③ TIME/TUNE (時刻/選局) +、-
タイム チューニング
つまみ

- ④ 本体: ■・RADIO OFF (ラジ
ラジオ オフ
オ電源切) ボタン

リモコン: ■ (ラジオ電源切)
ボタン

リモコンつきヘッドホン

L (左) R (右)



- ⑤ ENTER (入力) ボタン

- ⑥ ASP (オート・ステーショ
ン・プリセット) ボタン

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

► Getting Started

Installing the Lithium Battery

Before using the unit for the first time, open the battery compartment lid at the left side of the Walkman and insert one CR2016 lithium battery (supplied) with the correct polarity. The battery keeps the memory of the clock.

When to replace the lithium battery

The lithium battery will last for about a year. To replace it, remove all the batteries from the unit and wait for 15 seconds before inserting a new one. The clock display will return to "AM 12:00", re-enter the clock again.

Preparing Power Sources

Rechargeable Battery

- 1 Before using the rechargeable battery, you must charge it with the supplied battery charger.

Japanese model: Full charging takes about 2 hours.

World model: 50%-charging takes about 30 minutes. Full-charging takes about 60 minutes (then the charge lamp goes off).

- 2 Open the rechargeable battery compartment lid at the left side of the Walkman and insert the charged battery.

Dry Battery

Attach the battery case to the unit, and then insert one R6P(SR) battery (supplied) with the correct polarity.

Battery life (Approx. hours)

Sony alkaline LR6(WM)

Playback	16.0
Radio/TV reception	25.0
MIC recording	8.5
Radio recording	7.0

Rechargeable NC-6WM

Playback	6.0
Radio/TV reception	8.0
MIC recording	3.5
Radio recording	3.0

Sony alkaline LR6(WM) and Rechargeable NC-6WM

Playback	21.0
Radio/TV reception	32.0
MIC recording	12.0
Radio recording	9.5

(continued)

Sony R6P(SR)

Playback	4.5
Radio/TV reception	8.0
MIC recording	2.0
Radio recording	1.5

Notes

- Remove the charger unit from the wall outlet as soon as possible after the rechargeable batteries has been charged. Overcharging may damage the rechargeable battery.
- Use the Sony NC-6WM rechargeable battery only with the supplied battery charger or with the separately sold battery charger for Sony NC-6WM.
- Be sure not to short-circuit the battery. When you carry it with you, use the supplied carrying case. If you do not use the carrying case, do not carry with other metallic objects such as keys in your pocket.
- The battery charger and the rechargeable battery may become warm during charging, but it is not a problem.

House Current

Before using the Walkman, remove the rechargeable battery if it is installed. Attach the supplied battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG for overseas (not supplied) to the DC IN 1.5V jack of the battery case. Do not use any other AC power adaptor.

Setting the CLOCK

- 1 Press CLOCK until the display flashes "AM 12:00".
- 2 Turn the SPEED CONTROL • TIME/TUNE to adjust the clock.
- 3 Release CLOCK at the time signal.

":" will start to flash and the clock will start to operate.

12-hour system:

"AM 12:00" = midnight

"PM 12:00" = noon

▶ Operating the Walkman

Playing a Tape

- 1 Connect the supplied headphones with the remote control firmly to the ◯ REMOTE jack and switch the Hold function off.
- 2 Open the cassette holder and insert a cassette.
- 3 Press ◀▶ • REPEAT (play) and adjust the volume with the volume dial.

To	Press
Play the other side	◀▶•REPEAT (during playback)
Stop playback	■ (stop)
Fast forward	FF•AMS (in the stop mode)
Rewind	REW•AMS (in the stop mode)
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•REPEAT (2 seconds or more during playback) <i>to stop a single repeat, press it again.</i>
Find the beginning of the next track/ succeeding 3 tracks (AMS*function)	FF•AMS (shortly/ repeatedly during playback)
Find the beginning or the current track/ previous 2 tracks (AMS function)	REW•AMS (shortly/ repeatedly during playback)
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF•AMS (2 seconds or more during stop)
Play the same side from the beginning (Auto Rewind Play function)	REW•AMS (2 seconds or more during stop)

*Automatic Music Sensor

To skip a long blank space between tracks (BL SKIP* function)

Press MENU repeatedly to set the cursor to BL SKIP in the display. Press SET to show "ON".



* The Walkman fast forwards the tape to the next track if there is a blank space longer than 12 seconds.

Note

To detect a blank space easier when the AMS or BL SKIP does not operate, press MENU repeatedly to set the cursor to AMS in the display and then press SET to show "LOW". The AMS and BL SKIP will change sensitivity to detect the blank space easier. To return to the normal settings, press SET to clear "LOW".


To select playback mode

Press MENU repeatedly to set the cursor to DIR in the display. Press SET to select the desired function.

To play	Set the selector to
Both sides repeatedly	
Both sides once from the side facing the tape holder	

To play a tape recorded with the Dolby* B NR system

Press MENU repeatedly to set the cursor to NR (Dolby noise reduction) in the display. Press SET to show "ON".

* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. "DOLBY" and the double-D symbol  are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Adjusting the Playback speed

You can choose from 6 playback speed steps, three in fast speed, two in slow speed and one in normal speed. Approximately from +30% to -20%.

Turn SPEED CONTROL • TIME/TUNE to FAST/+. (When turning the control all the way, the steps changes rapidly.) (Approx. speed)

Playback Speed	Display
+10%	FAST 1
+20%	FAST 2
+30%	FAST 3

Turn SPEED CONTROL • TIME/TUNE to SLOW/-. (When turning the control all the way, the steps changes rapidly.) (Approx. speed)

Playback Speed	Display
-10%	SLOW 1
-20%	SLOW 2

To put back the normal speed

Turn SPEED CONTROL • TIME/TUNE repeatedly until "PLAY" will appear in the display.

Notes

- If you open the cassette holder or start the recording operation, the playback speed will automatically change back to the normal speed.
- The setted playback speed will be memorized until changed back to the normal speed.
- You can not change the recording speed by the playback speed.

IC Repeat Playback

Playback repeats 4 seconds from the point you press REPEAT IC/A-B.

When the tape operation is stopped, press REPEAT IC/A-B, "4" appears in the display. On the remote control "IC. REP" will appear.

During playback press MENU repeatedly, to set the cursor to IC. REP in the display. Press SET to show "4".

To slow down the playback on IC Repeat

When you press REW • AMS during the IC repeat playback, "SLOW" will appear and the playback will speed down to 10%. To put back the normal speed press FF • AMS.

To cancel the IC REPEAT playback

Press REPEAT IC/A-B or ◀▶•REPEAT during playback.

Notes

- When the IC REPEAT is set, the battery consumption will quicken. If you are not using the IC REPEAT playback, change the display to "A-B".
- The IC REPEAT will automatically cancel and start playback in 5 minutes.
- When using IC REPEAT function, the sound turns to monaural.
- The IC REPEAT will not operate during 1 track repeat playback.
- The IC REPEAT cannot be used on the radio.

A-B Repeat Playback

Choosing a section you want to repeat playback by pressing REPEAT IC/A-B.

When the tape operation is stopped, press REPEAT IC/A-B, "A-B" appears in the display. During playback press MENU repeatedly to set the cursor to "IC.REP" in the display. Press SET to show "A-B".

Repeat playback by pressing REPEAT IC/A-B once at the beginning (A point) and once at the end of the chosen section (B point).

To cancel the A-B REPEAT playback

Press REPEAT IC/A-B or ◀▶•REPEAT during playback.

Notes

- The A-B REPEAT function will not operate at where the tape turns over to the other side.
- The A-B REPEAT will not operate during 1 track repeat playback.
- The A-B REPEAT cannot be used on the radio.

Listening to the Radio

- 1 Connect the supplied remote control firmly to the ⓄREMOTE jack and switch the Hold function off.
- 2 Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
- 3 Press and hold ASP until "AREA" flashes in the display. Then the FM frequency and "PRESET 1" will light up in the display of the unit and "1" will light up on the remote display.
- 4 Press BAND•RADIO ON to select AM, FM or TV.
- 5 Press PRESET+/- to select the preset number you wish to listen to and adjust the volume using the volume dial.

To turn off the radio, press **■•RADIO OFF**.

Next time you listen to the radio in the same frequency area, you can skip step 3.

To improve radio reception

When you are listening to FM or TV, extend the ear receiver cord for better reception. When you are listening to AM, rotate the unit horizontally for optimum reception.

When you are listening to stereo broadcast

Press MENU repeatedly to set the cursor to FM/AM. Press SET so that "MONO" disappears. If the reception is poor, show "MONO".

What the ASP button does ASP (Auto Station Preset function)

This Walkman stores the main stations of eight areas of Japan (Sapporo, Sendai, North Kanto, South Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, and Fukuoka) and Shinkansen. You can tune in the originally stored stations by simply pressing ASP. Keep pressing the ASP button until the Walkman start to search.

If the ASP function does not store the desired station, or you want to customize the preset number of the stations, see "Tuning in the Radio Manually" or "Storing Radio Stations Manually" as following.

Tuning in the Radio Manually (Manual tuning)

Turn on the radio and select the desired band. Then tune SPEED CONTROL • TIME/TUNE -/SLOW or +/FAST. If you tune and hold SPEED CONTROL • TIME/TUNE -/SLOW or +/FAST for more than a few seconds, the Walkman will start tuning the stations automatically.

Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

- 1 Turn on the radio and select the desired band.
- 2 Press ENTER. The frequency digits, "PRESET" and a preset number flash in the display.
- 3 While the frequency digits, "PRESET" and the preset number are flashing, tune in to a station you wish to store using SPEED CONTROL • TIME/TUNE, and select a preset number on which you wish to store a station using PRESET+/-.
- 4 While the frequency digits, "PRESET" and the preset number are flashing, press ENTER.

Notes

- If you cannot complete step 3 or 4 while the indications are flashing, repeat from step 2.
- If you preset automatically using ASP, the stations stored will be erased.

To cancel the stored station

Operate the unit according to the steps in *Storing Radio Stations Manually and Receiving the Stations* from step 1 to step 3. Instead of tuning in to a station, turn and hold SPEED CONTROL•TIME/TUNE-/SLOW or +/FAST until “---” is displayed. Then press ENTER while “----” is flashing. The maximum frequency or the minimum frequency will be displayed as “----”.

Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
- 2 Press ENTER. The frequency digits, "PRESET" and a preset number flash in the display.
- 3 Press and hold BAND•RADIO ON until “AREA 1” flashes in the display.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press PRESET+/- repeatedly to select either area “USA” (USA, Canada, Central and South America) or “Eur” (Europe and other countries) and then press ENTER.

- 5 Press and hold ASP until “1” changes to “A” in the display. The Walkman starts searching and storing stations.
- 6 Press BAND•RADIO ON to select the desired band and press PRESET+/- to select a station.

Recording

- 1 Insert a normal (TYPE I) tape with the side facing forward you want to record on.
- 2 Select a recording source:
To record with the microphone
Connect the supplied microphone to the MIC jack. You can use the supplied microphone stand.
To record from the radio
Tune in a station you want to record (see "Listening to the Radio" on page 52). When recording FM or TV programs, make sure the headphones are plugged in as they serve as an antenna.
- 3 Slide REC/PAUSE. "REC" appears in the display and recording starts after about two seconds. To record on both sides, insert a cassette with the side to be recorded on facing the cassette holder.

To record on one side only, insert the cassette with the side to be recorded not facing the cassette holder.

When the cassette holder is opened, the direction of the tape will automatically set to FWD. When recording one side, press and hold ■ (stop) until FWD changes REV in the display.

Note

If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.

To pause a recording

Press and slide REC/PAUSE during recording, the recording will pause.

A pause during recording: "REC" will flash in the display.

To record, press and slide REC/PAUSE again.

To stop recording

Press ■ (stop).

To reduce noise while recording AM programs

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

Timer Recording

You can record the radio or TV by the timer recording.

Make sure the clock time is correct when using the timer recording.

- 1** Tune in a station you want to record.
- 2** Insert a blank tape with the side you want to record.
- 3** Press and hold TIMER until "START" will appear.
- 4** Turn SPEED CONTROL • TIME/TUNE to set the time you want to start recording.
- 5** Press TIMER, "STOP" will appear.
- 6** Turn SPEED CONTROL • TIME/TUNE to set the time you want to stop recording.
- 7** Press TIMER. The setting has been completed, the radio will turn off and the timer recording is in the standby mode.

The setting for the timer-recording time is erased when the power source is removed. In this case, set it again.

To cancel the standby mode

Press ■.

To stop recording

Press ■.

Notes

- If the power source is removed during timer recording standby, the setting is erased and timer recording will not operate. In this case, set the settings for timer recording again.
- You can not listen to a tape during the timer recording standby mode.
- Set the timer recording before one minute of the recording time. If the setting is completed less than one minute before the recording time, the timer recording function will not operate.

Choosing a mode on recording

At a private stage or recording loud music, press MENU repeatedly to set the cursor to REC and then press SET, "LIVE" will appear in the display.

When recording a business meeting or a low level sound, press SET and "LIVE" will disappear from the display.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and/or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Notes

- Do not use a CrO₂ (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape, otherwise the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.

- Do not connect or disconnect the headphones to ◯REMOTE while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- When recording with the microphone, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp to avoid interference noise.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- While recording, the ■ operation only functions.

Using Other Functions

To lock the controls -Hold function

Slide HOLD in the direction of the arrow to lock the controls of the Walkman or the remote control.

To see the remote display in the dark

Press LIGHT on the remote control.

You can see the remote display in the dark which provides illumination by electroluminescence(EL). The EL display will glow for about 5 seconds for each press. The LIGHT button on the remote will operate even if the HOLD function is on.

To emphasize bass sound —MEGA BASS function

To listen to the emphasized deep bass sound, press MEGA BASS / AVLS on the remote control repeatedly to select the mode you want.

Each time you press the button, the mode changes. The selected mode is displayed in the window of the remote control.

- : emphasizes bass sound
- ■ : emphasizes deeper bass sound

No message: off (normal)

To adjust the sound to an appropriate level —AVLS (Automatic Volume Limiter System) function

To limit the maximum volume, press and hold MEGA BASS / AVLS on the remote control for more than 2 seconds until ☺ appears in the display.

To cancel the AVLS function, press and hold MEGA BASS / AVLS for more than 2 seconds until ☺ disappears in the display.

Supplied Accessories

- Battery charger (1)
- Rechargeable battery (NC-6WM, 1.2 V, 600 mAh, Ni-Cd) (1)
- Battery case (1)
- Battery R6P (SR) (1)
- Lithium battery CR2016 (1)
- Stereo headphones with remote control (1)
- Carrying pouch (1)
- Battery carrying case (1)
- AC plug adaptor (1) (excluding Japanese model)
- Stereo microphone (1)
- Microphone stand (1)
- Ear adaptors (2)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111